

「夏秋」出場へ感覚磨く

創部30周年 マツゲンが練習試合

田辺

社会人硬式野球のクラブチーム「島硬式野球部」(本拠地・有田市)は今年、創部30周年。まだ出場がない夏の都市対抗(東京ドーム)と、昨年末までに8回出場しながら未勝利の秋の日本選手権(京セラドーム大阪)を目指し、練習試合を重ねて実戦感覚を磨いている。17日は田辺市の田辺スポーツパーク野球場で強豪・大阪ガスと対戦した。この日は四回までに

7安打を放ち4-0とリードしたが、投手陣が四球で崩れて4-7で逆転負け。西川忠宏監督(65)は「今はいろいろと試す時期。今年のチームはよく練習する。都市対抗に出るチャンスだと思っている」と意気込む。

「オフの間は技術を突き詰めるのはもちろん、あいさつなど当たり前のことにチームで取り組んできた。勝負どころで一本出たり点をやらなかったりの部分で企業チームとの差がまだまだある。自分が引く張っていきたい」と意気込みを語った。

【観谷真】



大阪ガスとの練習試合で力投する石原滉太郎投手



生還した仲間を迎えるマツゲン箕島ベンチ